

堀内 孝子 選

特
選

夏の日に汗と涙のグラウンド勝利の叫び響く青空

県立尾道北高等学校一年 松本 啓汰

【評】 猛暑日が続いたこの夏、目標に向かって毎日練習を続けた。大会が勝利したみんなの喜びと希望が感じられる。

ばっちゃんのまがったこしをおしながらのぼるさかみちあせびっしよりだ

庄原市立東小学校二年 島田 悠利

【評】 今年の夏は特に暑かった。曲がったおばあちゃんの腰を押しながら坂道を登るやさしい気持ちしが伝わってくる。

あの一本決めきれなかったくやしさがコートに立つとまたよみがえる

大竹市立玖波中学校二年 古村 楓

【評】 テニスの大会でしょうか。悔しい思いが読者に伝わってくる。悔しさをばねに頑張る希望が見えてくる。

「ごめんね」とぼつりと囁く君の声頬を濡らすは日暮れの時雨

呉工業高等専門学校三年 大木 梨愛

【評】君の顔がぬれているのは、時雨ではなく涙かもしれない。素直な心で見つめる作者の思いが感じられる。

ほしかった本を手に入れ開くとき未知の世界がそこに広がる

広島市立船越中学校二年 朝長 風羽

【評】本を読むことで新たな知識が増えてくる。本を読む喜び、楽しさが伝わり静かな様子が浮かんでくる。

念願のセーラー服にそで通し心浮き立つ鏡見る朝

県立広島皆実高等学校一年 堀益 優渚

なつやさしいろんないでかわいいなわたしのすきなサラダになあれ

庄原市立東小学校二年 栗原 那奈

春の日に新たな命燕の巣まだたよりない小さな翼

呉市立呉中央中学校二年 占部 結大

夕暮れに染まる尾道坂の街瀬戸内海も光を宿す

県立尾道北高等学校一年 松並 暖士

おじょう土のじいじに手紙とどくかな会館前のゆう便ポスト

廿日市市立大野東小学校五年 袋瀬ほのみ

星月夜無数の星が道照らすまるで未来に導くように

県立尾道北高等学校一年 戸田 愛蘭

通学時電車から見る青海原陽光浴びて輝くごとし

県立尾道北高等学校一年 鈴木和佳奈

虹の下あじさい並ぶ帰り道花の先には光る水玉

三次市立布野中学校二年 小田 直幸

藍色の母娘二代の浴衣着て涼しき風が袖を駆けゆく

県立三原高等学校一年 尾越 心美

畑仕事母の背中に降り注ぐ天空海闊輝く緑

県立三原高等学校二年 山入端彩華

全身をねじらせ酸素使い切りゴーグル越しに見る青い空

広島市立安佐中学校二年 鈴木 里彩

目開けば笑う人あり耳聞けば話し声ある家のあたたかさ

比治山女子中学校二年 岸本 愛亮

赤クレヨンまた新しくなるほかの色はときには長くときには短かく

三次市立八次小学校五年 前田 大翔

お祭りだワクワクするな楽しみだきんさい祭りうれしい気持ち

三次市立八次小学校三年 清川 柚乃

ピンク色ドックにそびゆる巨大船二度と帰らぬ呉の港に

呉工業高等専門学校三年 佐々木慎介

オーブンカーポカポカ南風を肩にのせリズム刻んでエンジンふかす

県立尾道北高等学校一年 大村 凌平

ふんわりと泳ぐクラゲは暗闇で明るく光る海の宝石

呉市立呉高等学校二年 柳迫 梨愛

カエルがね親子で鳴くよゲコゲコと親子なかよく歌っているよ

三次市立八次小学校四年 中村 駿寿

海開き肌色光る夏の日揺れる陽炎麦わら帽子

呉市立呉高等学校二年 八谷 葵

線香の匂い漂う墓地の中思い出される通夜の夜の祖母

県立三原高等学校一年 浅海 優